

# 若きまちづくり人育成委員会事業計画

委員長 竹越 弘至  
副委員長 石田 祐一  
副委員長 彦坂 宗  
幹事 滝澤 正芳

## <基本方針>

上越市では全国に先駆け中学生を対象に「ゆめチャレンジ」、また高校生には「インターンシップ」と称した職場体験を行い目標決定能力や仕事観の早期育成に取り組んでいます。しかしそれだけでは成果を出すことが難しく、就職前の高校生の中には達成したい夢がないために親の助言で安易に仕事を決め、またフリーターを選択する若者がいることも事実です。卒業後3年間での離職率を約50%とする全国データもあります。以上のことから今こそ未来の上越のために使命感をもち夢に挑戦する若者を育成する必要があります。

本委員会では「人は何のために働くのか」という根源的な問いを用いつつ、彼らが志へと繋がる気づきの中から結果的に目標が見出せるよう導きます。志や使命感（ミッション）が見出せない彼らが憧れや空想からくる将来の夢や目標を描いたとしても今の自分を直接変えることは難しいと考えます。夢は本来、現実と乖離した単体で描くべきものではなく、あくまで現実に根ざした志や使命感から結果として自然発生するものです。そのために、まず話し合いやワークショップ、体験談などによりメンバーらとともに「これは君にしかできないよ」、「こんなことができるなんてすごいね」といわれる感覚を感じてもらい、その重要性の理解、認識を深めつつ使命感へ至れるよう導きます。この感覚がひいては仕事を面白いと感じることへと繋がります。さらにそこを立脚点とし、若者らしい彼らの発想力・想像力を引き出しつつ、実践の場として地元開催イベントなどを活用、参画することで「自分は誰かの役に立っている」「自分は人を喜ばせることができる」「自分は価値のあることをしている」といった感覚を直接肌で感じる場を創出します。また、こうした取り組みを周囲の理解を仰ぎつつ継続性を持たせられる環境づくりへと取り組みます。

志や使命感の認識に基づく夢を語れる若者が増えれば、わがまちに活力ある明るい未来を創造することが可能です。彼らの中にはもっと学び自分の枠を拡げたい、同志を募り起業したい、子供たちに夢を与えたい、地域を元気にしたいという気持を抱く人も必ずいます。彼ら一人ひとりの頑張りが点から線へ、ひいては若者が輝くまち上越を生み出します。

## 委員会職務分掌<事業内容>

1. 夢や目標へと向かわせる話し合いの場を設け、議論を重ねる事業を行います。
2. 仕事観や使命感をもつことの重要性を発信する事業を行います。（7月担当例会）
3. 就職前の高校生が志や使命感を肌で感じてもらえる実践的的事业を行います。
4. 継続事業として「雪ん子基金」の運営を致します。
5. 戦略的な会員拡大（会拡）の実践